

平成 26 年 10 月 29 日

南 砺 市 長

田 中 幹 夫 様

精神障がい者の福祉施策充実に関する要望書

地域家族会となみ野家族会

役員代表 渡辺 清

社会福祉法人たびだちの会

理事長 米田 俊一

障害福祉サービス事業ワークハウスとなみ野

地域活動支援センターとなみ野

管理者 山本 真由美



精神障害者の福祉施策充実に係る要望書

南砺市におかれましては、日頃より精神障がい者の福祉施策にご尽力頂き、心から感謝申し上げます。

私たちは、精神障がい者ならびにその家族が、地域で安心して生活できるよう、当たり前の生活が営めるよう、家族同士が集まり話し合い、支えあう活動を行っております。

私たちの願いは、当事者も家族も安心して生活できる地域社会を実現することです。その為に社会に病気と生活障がいの理解を広め、地域の関係者と連携して生活の保障や就労の確保等を実現していきたいと考えております。

さて、標記の件について、相次ぐ社会福祉施策の見直しが続く中、他障害福祉に比べて遅れているとはいえ、精神に障がいのある人たちの医療・保健・福祉について、施策を講じていただいておりますことに心より敬意を表するとともに、南砺市において皆が安心して暮らせる街になることを願う者としても、さらに精進していく所存であります。

さて、今年度の要望として下記の事項についてまとめてみましたのでご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

私たちとしてもこれらの実現に向けて一生懸命努力いたしますが、市、県、厚生センター等関係機関におきましても密接にご連携頂きますようよろしくお願い申し上げます。

記

1. 地域社会の支援体制に対する要望

日常的に病状悪化によりいつでも相談できる場、支援してくれる場がありません。例えば夜間病状悪化した際、どこに助けを求めればよいのか分からず、家族自身で抱えこまざるをえないことも多々あります。現状を少しでも打開し、当事者や家族が地域社会で安心して生活できるように、24時間、365日対応してくれる訪問型の医療サービス等を砺波圏域内で実現できるように働きかけをお願い申し上げます。

H26-059-001

福祉課障害福祉係

2. 家族会の活動推進に関する要望

精神障がい者は増加していると聞いておりますが、その一方で当家族会の会員数は減少しております。障がい者本人やその家族が孤立することのないよう当家族会の活動を広報に掲載して頂いたり、市役所や病院に当家族会の案内を設置して頂いたり等、積極的に当家族会の紹介を行って頂けますようお願い申し上げます。

H26-059-002

福祉課障害福祉係

3. 手帳サービスについての要望

精神障害者保健福祉手帳のサービス内容について、市町村格差があるのが現状です。タクシーチケットを例にしますが、作業所に通所している方の中には、パニック障がいや幻覚等の症状があり免許が取得できない方や薬の影響で運転が出来ない方がおられます。公共交通機関も不十分な地域も多くあり、通所するにも大変時間がかかります。そんな中でタクシーチケットがあれば、運転が出来ない方も少し遠方の方でも通所や生活がしやすくなります。

県内どこに住んでいても地域格差や障害種別による格差のない手帳制度の拡充を望みます。

H26-059-003

福祉課障害福祉係